

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・衣料品は秋物の動向で回復の兆しが見える。人気歌手の国内外のファン効果やCDの売上が好調である。相変わらず、化粧品の動向は国内外の客を問わず、好調を維持している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年より売上が増加している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新商品の発売と、旧商品の値下げもあり販売数が増えている。店頭での提案も旧商品からの取替えを推奨する方向に力を入れていることも要因とみられる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・この時期、県内では各種イベントなどで観光客も多く見込めるが、台風の影響などもあり、9月後半はかなり打撃を受けているとみられる。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・6月に発売された高級車の受注が好調に続いている。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・宿泊者数は前年とほぼ同じである。前半は弱かったが人気歌手の効果で持ち直している。飲食は相変わらず伸び悩み、前年よりも悪くなっている。
		旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・台風災害、北海道胆振東部地震等で出張キャンセルなどが多数ある。景気のせいではないので仕方がない。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・戸建て住宅、民間共同住宅、外国人向け賃貸住宅、商業施設など一定の建築相談案件を抱えている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比5%増、前年同月比20%減となっている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・県知事選挙、市長選挙の影響で、平日の入客に影響が出ている。また台風被害の影響で、生鮮食品の仕入れに影響が出ている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率は、前年同月実績を下回る実績で推移している。3か月前と比べ前年同月実績からのマイナス幅が大きくなっている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・携帯電話も各人に行きわたり、新規増は厳しい状況となっている。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	来客数の動き	・台風21号や北海道胆振東部地震の影響で予約数が伸び悩んでいる。
	x	商店街（代表者）	お客様の様子	・大型クルーズ船の客は、商店街に来てはいるが、観光のみでなかなか売上には結び付かないという話をよく聞く。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共向け出荷は前年比減、民間向けは前年比増で、全体では横ばいである。
		コピーサービス業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注額に景気の良さを感じられるような変化はなく、依然として厳しい状況である。
	食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・実際の販売量の動きからして悪くなっている。当社については、為替が円安方向のため逆風となっている。	
	x	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数は引き続き多く、景気の良い状態が続いている。
		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・週平均件数は847件で、3か月前の849件と比較するとマイナス2件でほぼ同件数である。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・IT技術の利用が著しく拡大し、業界全体の市場規模が急激に伸び上向き成長している。その反面IT人材不足、人材の技術不足が深刻になっているため、需要と供給のバランスが悪い。現実のIT業界は売手市場ではなく買手市場である。
	x	-	-	-